

QST病院で金マーカー挿入を行なった後に重粒子線治療を受けた皆様へ

(臨床研究に関する情報)

QST病院では、金マーカー挿入を行なった後に重粒子線治療を行なった患者さんにおいて、治療期間中の金マーカーの動きの量や傾向について解析することになりました。この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをご存知になりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 重粒子線治療におけるセットアップマージンの最適化に関する検討

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 QST病院

[研究期間] 許可日～2026年4月30日

[協力/共同研究機関] なし

[研究責任者] 小此木 範之

[研究の目的] 当院において金マーカー挿入を行なった後に重粒子線治療を行なった方において、治療臓器や治療前処置、照射体位毎に系統的にマーカー位置のずれや傾向を整理し、最適な治療範囲を検討することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる方々

2020年3月から2023年2月までに、QST病院において金マーカー挿入を行なった後に肺、前立腺、肝臓、乳房、腎臓に対する重粒子線治療を行なった患者さん

●利用する情報及び利用方法

金マーカーの位置に関して、治療計画時と実際の治療時の位置の違いについて、情報を収集します。金マーカーの位置に影響しうる情報については当院の重粒子線治療業務用データベース、臨床データベース、およびカルテよりデータを収集します。

新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人を直接同定できる情報は削除します。また、研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることはありません。(個人情報保護法および研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。)

この研究にご自身のデータを使って欲しくない方(又は代理人の方)は、2023年7月31日までに下記窓口にお申し出ください。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。この期間を過ぎた後、解析が始まってからお申し出があった場合も、可能な限りデータを取り除きますが、既に個人情報が切り離されて解析に使用されているなど、取り除けない場合もあります。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 QST病院

小此木 範之 電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）

